

リスクマネジメント

リスク管理の基本的な考え方

リスクマネジメントについては、2006年4月に定めた「関西電力グループ リスク管理規程」に則り、組織目標の達成に影響を与える可能性のある事象をリスクとして認識、評価したうえで、必要な対策を実施するとともに、対策後にその評価をおこない、改善していく一連のプロセスにより、当社グループへの影響を適切なレベルに管理しています。

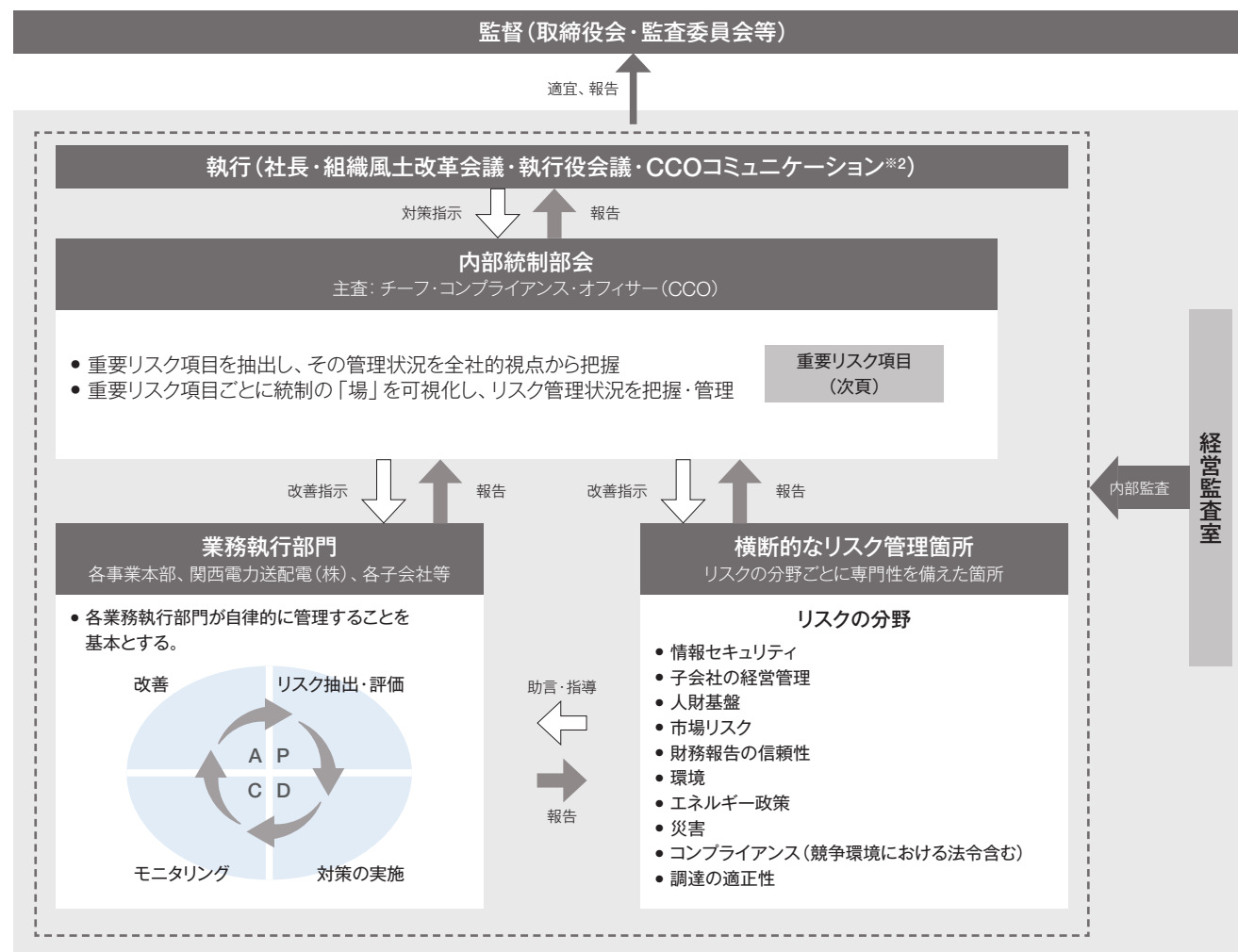
リスク管理体制

当社グループの事業活動に伴うリスクについては、各業務執行部門が自律的に管理することを基本とし、組織横断的かつ重要なリスク(情報セキュリティ、子会社の経営管理、人財基盤、市場リスク、財務報告の信頼性、環境、エネルギー政策、災害、コンプライアンス(競争環境における法令含む)、調達の適正性)については、必要に応じてリスクの分野ごとに専門性を備えたリスク管理箇所を定め、業務執行部門に対して、助言・指導をおこなうことで、リスク管理の強化を図っています。

これらの取組みを「コンプライアンス推進本部」がサポートし、グループ全体のコンプライアンス推進やリスクマネジメント等を一元的に推進しています。^{※1}

また、リスクを統括的に管理する「内部統制部会」を設置し、その主査であるコンプライアンス推進本部長(チーフ・コンプライアンス・オフィサー)を「当社グループのリスク管理統括責任者」とする体制のもと、当社グループの事業活動に伴うリスクを適切なレベルに管理するよう努めています。内部統制部会は、リスク評価結果等を定期的に組織風土改革会議および取締役会へ報告し、必要に応じてリスク管理の仕組み、体制の改善をおこなっています。

※1 コンプライアンス推進体制の全体像についてはP.75をご覧ください



リスク管理体制 (2026年6月末現在)

※2 コンプライアンス推進の最高責任者(CCO)が、各部門のリスク管理状況を把握・評価するために、各役員とおこなっている対話活動

さらに、リスク管理体制の整備と運用に関しては、経営監査室による内部監査を受け、監査結果を基に、改善を図っています。

リスクマネジメント

リスク管理状況

2025年度中に内部統制部会を7回開催し、当社グループの事業活動に大きく影響を与える重要リスク項目を抽出し、その管理状況を全社的視点から把握・評価しています。

重要リスク項目は、リスク対策を実効的かつ適切におこなっていく観点から、経営層で議論を重ね、収支に影響を与える各構成要素に着目して抽出し、事業別(事業ウェイトの大きい電気事業特有と全事業共通)と要因別(戦略、オペレーション、ハザード、財務・金融)の観点で、体系立てて整理するとともに、システム不具合等、近時のリスク事象への対応を踏まえた項目としています。

電気事業特有のリスクは、《1》気候変動、《2》原子力関連リスク、《3》広域停電等、《4》競争環境の急激な変化への対応遅れ、全事業共通のリスクは、《5》法規制・規制政策変更、《6》イノベーションの停滞、《7》資産価値毀損、《8》人財基盤の揺らぎ、《9》サプライチェーンの不安定化・断絶、《10》ITガバナンス・情報セキュリティリスク、《11》ガバナンス・コンプライアンスリスク、《12》環境問題(環境法令違反等)、《13》自然災害・国際情勢の変化等、《14》市場・市況変動リスクとしました。

重要リスク項目に関連するリスクについては、事業ごとの実態・特性を見極めつつ、発生可能性や影響度等の観点から重要度を評価したうえで、対策の検討をおこない、期中のリスク対策結果を踏まえ、改めて期末に重要度評価を実施することで、リスク管理のPDCAを回しています。

情報セキュリティ

基本方針

当社は、電力の安全・安定供給と、保有するお客さま情報

や重要情報、個人情報保護のため、情報セキュリティの確保が重要な責務と考えています。特に、世界各国で重要インフラ事業者をターゲットとしたサイバー攻撃が増加する中、サイバーセキュリティリスクは経営リスクとの認識を持って経営トップ主導のもとで、関係法令(経済安全保障推進法、サイバー対処能力強化法など)、サイバーセキュリティ経営ガイドライン、社内規定類に則り必要な対応をおこなうとともに、「サイバーレジリエンスの強化」、「サプライチェーン・内部不正対策」などを柱とした関西電力グループセキュリティ戦略を策定し、情報セキュリティ対策を強化しています。

情報セキュリティ推進体制

当社では、最高情報セキュリティ責任者(CISO)を設置するとともに、各職場に具体的な取組みを推進する情報セキュリティ管理者を配置、全社の情報セキュリティマネジメントを推進しています。さらに、グループ各社は「関西電力グループセキュリティガイドライン」に基づき、自律的に活動を実施するとともに、当社が指導・支援することでグループ全体の情報セキュリティレベルを高めています。

情報セキュリティ対策の取組み

国内外で発生しているサイバー攻撃などの脅威を迅速に把握し、日常業務で利用している事務処理系(IT)と電力の安定供給にかかわる制御系(OT)における課題を把握したうえで、必要となる情報セキュリティ対策を継続的に実施しています。

また、インシデント発生時の緊急対応をおこなう体制および24時間365日のセキュリティ監視体制を整備しており、サイバー攻撃の対応訓練や従業員への研修などを継続して実施しています。

さらに、電気事業者間でサイバー攻撃情報の共有・分析をおこなう組織である電力ISACの活動や、関係省庁・関係機関との官民連携の枠組みなどを通じて、国内外で発生しているサイバー攻撃の情報や最新のセキュリティ情報の収集をおこない、対策の見直しも随時実施しています。

加えて、フロンティアAIの出現により脆弱性が早期に発見されることを踏まえ、それらの悪用によるサイバー攻撃の脅威に対応するため、発見された脆弱性に早期に対応するとともに、ゼロトラスト型セキュリティへの移行を進めています。

担当役員：浜田 誠一郎[関西電力CISO(執行役常務)]
審議機関：執行役会議
事務局：IT戦略室 サイバーセキュリティグループ
(情報セキュリティ事務局)

